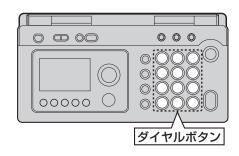
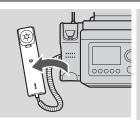
第2章 電話

電話をかける

親機で電話をかける

親機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

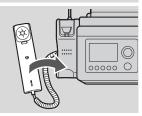
0312345678

- まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- 押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせすることができます。(読上げボイスダイヤル機能 ☞4-4ページ)

3 相手の方とお話しする

- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30
0312345678

4 通話が終わったら **受話器を戻す**

■ **途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **電話をかけられないときは（☞6-12ページ）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（☞7-5ページ）を「なし」にします。

■ **通話中にファクスを受信するときは**

親機で通話中のときは （FAX スタート）、子機で通話中のときは （機能） を押します。

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-29ページ）
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

■ **読上げボイスダイヤル機能を設定／解除するときは（☞4-4ページ）**

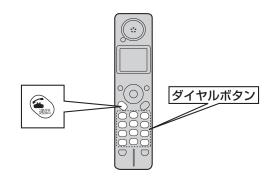
■ **受話器を取らずに電話をかけるときは**

（オンフック） を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは受話器を取ってお話しください。

お知らせ

- 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。
- 電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用のときは、ご自分の電話番号が相手の方に通知（表示）されます。
  通知する／しないは、現在お選びの番号通知方法によって異なります。
- 読上げボイスダイヤルの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。

子機で電話をかける

子機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた

1 充電器から取って
ダイヤルする

0312345678

2 （通話）**を押す**

●通話ボタンが点灯します。
●スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンで通話できます。
●通話ボタンを押してからダイヤルして電話をかけることもできます。
まちがい電話を防ぐために、通話ボタンを押したあと、「ツー」音を確かめてから正しくダイヤルしてください。

3 **相手の方とお話しする**

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0312345678
0:20
<通話中>

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●通話ボタンが消灯します。
●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
●通話時間の表示は、約５秒後に消え、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
（切）を押します。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは**
（☞6-24ページ）

■ **スピーカーホンで通話するときは**
（☞2-7ページ）

お知らせ

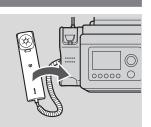
● ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
● 親機や他の子機が使用中のときは、子機で電話をかけることはできません。
● 子機で電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

電話を受ける

親機で電話を受ける

親機で電話を受けるときの操作です。

操作のしかた

1 着信音が鳴ったら
受話器を取る

2 相手の方と お話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30
着信通話

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **着信音の大きさを変えるときは**
(親機の着信音量を変える ☞**1-25ページ)**

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。(☞7-5ページ)

■ **通話中にファクスを受信するときは**
(☞2-3ページ)

お知らせ

● ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。(☞5-5ページ)
● 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。

子機で電話を受ける

子機で電話を受けるときの操作です。
電話がかかってくると、最初に親機の着信音が鳴って、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。

操作のしかた

1 着信音が鳴ったら
充電器から取って（通話）を押す

●通話ボタンが点灯します。

2 **相手の方とお話しする**

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:20
〈通話中〉

3 通話が終わったら
充電器に戻す

●通話ボタンが消灯します。
●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
●通話時間の表示は、約５秒後に消え、待受画面に戻ります。

■ **着信音が鳴っているときに音を「切」にするときは**
着信音が鳴っているときに（切）を押すと、音が「切」になります。（親機は鳴り続けます。）
次に電話がかかってきたときは、もとの設定している着信音が鳴ります。

■ **着信音の大きさを変えるときは（子機の着信音量を変える ☞1-27ページ）**

■ **通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（☞7-5ページ）

お知らせ

● クイック通話を「設定」にしているときは、子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。（クイック通話を設定する ☞4-9ページ）
● 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
● ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（☞5-5ページ）
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話を受けることはできません。また、着信音も鳴りません。

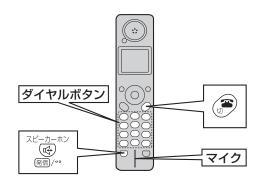
子機を置いたまま電話をかける／受ける（スピーカーホン）

子機を置いたまま電話をかける

子機を置いたまま電話をかけてお話しすることができます。（スピーカーホン）

操作のしかた

1 ダイヤルする

2 スピーカーホン 発信/ を押す

●通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

■「ピーピー」という音が聞こえるときは
（☞6-24ページ）

■ 相手の方の声が聞こえにくいときは
（子機のスピーカー音量を変える ☞1-30ページ）

3 マイクに向かって相手の方とお話しする

●マイクから約50cm～２mの範囲内でお話しください。

●通話中は通話時間（目安）を表示します。

4 通話が終わったら
切 を押す

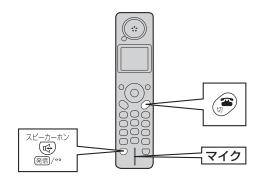
●通話時間（目安）は約５秒後に消えます。

お知らせ

● スピーカーホン通話中に、スピーカーの音量を「大」にすると、音が途切れることがありますが、故障ではありません。
● 子機を持って通話中にスピーカーホンボタンを押すと、スピーカーホンでの通話に切り替えることができます。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）
● スピーカーホン通話中に、相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンは解除されます。）
● スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手からの電話がつながったときは、こちらの声が相手に聞こえないことがあります。
こんなときは、子機を取ってお話しください。

子機を置いたまま電話をかける／受ける（スピーカーホン）

子機を置いたまま電話を受ける

子機を置いたまま電話を受けてお話しすることができます。（スピーカーホン）

操作のしかた

1 着信音が鳴ったら スピーカーホン（発信）**を押す**

0:30
〈通話中〉

●通話中は通話時間（目安）を表示します。
●通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。

2 マイクに向かって相手の方とお話しする

●マイクから約50cm～２mの範囲内でお話しください。

3 通話が終わったら （切）**を押す**

●通話時間（目安）の表示は、約５秒後に消え、待受画面に戻ります。

■ 相手の方の声が聞こえにくいときは
（子機のスピーカー音量を変える ☞1-30ページ）

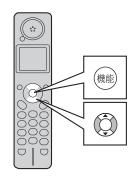
■ 着信音の大きさを変えるときは
（子機の着信音量を変える ☞1-27ページ）

お知らせ

● スピーカーホン通話中に、スピーカーの音量を「大」にすると、音が途切れることがありますが、故障ではありません。
● スピーカーホン通話中に、相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンが解除されます。）
● 子機を持って通話しているとき、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホン通話になります。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）

子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

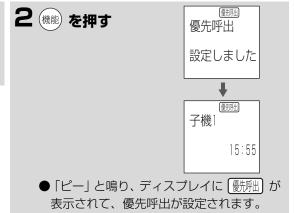
優先呼出を設定する

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着信音が鳴ります。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、**（◎）**で「優先呼出」を選ぶ**

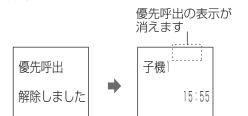
用件再生
▶優先呼出
着信音量
◀終了　選択▶

2 （機能）**を押す**

● 「ピー」と鳴り、ディスプレイに［優先呼出］が表示されて、優先呼出が設定されます。

■ **途中でやめるときは**

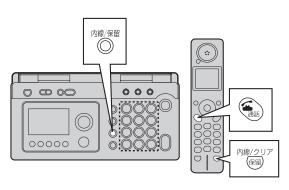
（切）を押します。

■ **優先呼出を解除するときは**

ディスプレイに［優先呼出］が表示されているときに、手順1～2の操作をします。
「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの［優先呼出］が、消えます。

お知らせ

- 設定後、9時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、1台のみです。すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「ピピピピ」とアラームが鳴り、優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると、［優先呼出］の表示は消えますが優先呼出は設定されたままになります。［優先呼出］を表示させるときは、解除してもう一度設定し直してください。
- 優先呼出を設定しているときは、親機や他の子機で電話を受けることはできません。
- 優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が働き、親機で自動応答します。
- 親機でコピー中、プリント中のときは、優先呼出を設定していても、子機で電話を受けることはできません。また、着信音も鳴りません。コピー・プリント終了後は、子機で受けることができます。

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディを流します。
（曲名：「ビューティフル・ドリーマー」）

親機で通話中にお待たせする

操作のしかた

1 通話中に

内線/保留 ◎ **を押して、**
受話器を戻す

保留中

●保留メロディが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは

受話器を取る

●保留メロディが止まり、お話しできるようになります。
●受話器を戻さなかったときは、もう一度、内線/保留ボタンを押すと、再び通話できます。

子機で通話中にお待たせする

操作のしかた

1 通話中に

内線/クリア（保留） **を押す**

●保留メロディが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。
●通話ボタンが点滅します。

2 再び通話するときは

 または

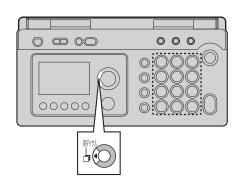
内線/クリア（保留） **を押す**

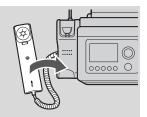
●保留メロディが止まり、お話しできるようになります。
●通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送　☞2-24ページ）

電話をかけ直す（再ダイヤル）

親機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、最後にかけた電話番号が１件記憶されています。

操作のしかた

1 受話器を取る

2 ツーという音が聞こえたら 再ダイヤル **を押す**

●親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
●最後にかけた相手の方に電話をかけます。

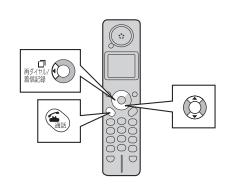
3 通話が終わったら **受話器を戻す**

■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは**
受話器を置いたまま操作します。
① 再ダイヤル を押す
② 消去 を押す
③「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

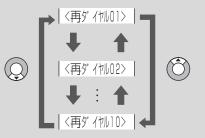
お知らせ
● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
● 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
● 再ダイヤルで電話をかけ直すときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
子機では、最大10件記憶されています。

操作のしかた

1 子機を充電器から取って 再ダイヤル/着信記録 **を押す**

<再ダイヤル01>
青木 二郎
0398765432
19：45

●最後にかけた相手の方が表示されます。

2 **で選ぶ**

3 通話 **を押す**

●通話ボタンが点灯し、選んだ電話番号にダイヤルされます。
●子機で再ダイヤルできる番号は最大32ケタまでです。
●子機を置いたまま電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。

4 **相手の方とお話しする**

5 通話が終わったら **充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

お知らせ

● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
● 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

■ 子機の再ダイヤルの記憶を１件ずつ消去するときは

① 子機を充電器から取って、
再ダイヤル/着信記録 を押す

② で消去したい着信記録を選び、機能 を押す

③ で「消去」を選び、を押す

④ 機能 を押す

■ 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

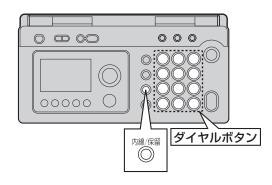
① 機能 を押す

② で「再ダイヤル消去」を選び、を押す

③ 機能 を押す

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出してお話しする

親機から子機を呼び出して、お話しします。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 親機

受話器を取って 内線/保留 を押し、子機の内線番号を押す

子機呼出　1

（例）子機１のとき 1

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

●増設されているすべての子機を呼び出すときは（一斉呼び出し）、トーン ＊ を押します。

2 子機

着信音が鳴ったら

充電器から取って 通話 を押す

●通話ボタンが点灯します。

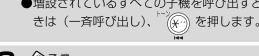
3 親機 子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ 親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機のスピーカーや子機の受話口からそれぞれに着信音が聞こえます。

親機で話すには

① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）
② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

子機で話すには

① 切 を押す（内線通話が切れます。）
② 子機の着信音が鳴り始めたら、通話 を押す（外の相手の方と通話できます。）

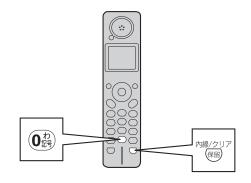
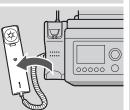
お知らせ

● 内線通話では、保留はできません。
● 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
● 内線通話のときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
● 内線通話の着信音色を変えることはできません。
● 子機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は「小」の大きさで鳴ります。

子機から親機を呼び出してお話しする

子機から親機を呼び出してお話しします。

操作のしかた

1 子機

子機を充電器から取って
内線/クリア 保留 **を押し、**
「内線番号：」と表示されたら
親機の内線番号（0わ記号）を押す

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

着信音が鳴ったら
受話器を取る

3 親機 子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機
受話器を戻す

子機
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

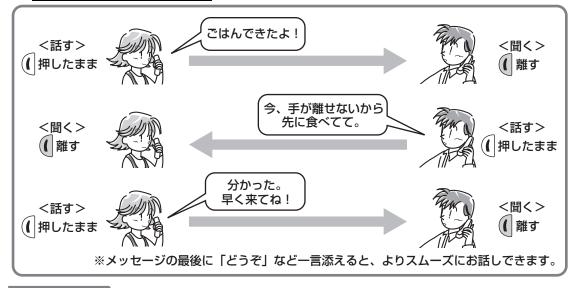
お知らせ

- 子機のスピーカーホンでの内線通話はできません。（スピーカーホンボタンを押すと点滅しますが、通話はできません。）
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさで鳴ります。

子機と子機の間でお話しする（トランシーバー方式内線通話）

UX-F34CWをお使いのとき、またはUX-F34CL/UX-F34CWにトランシーバー方式の内線通話に対応している子機（CJ-KS80、CJ-KS50）を増設してお使いのときは、子機と子機で通話をすることができます。**トランシーバー方式とは、一人ずつ交互に通話する方式です。同時にはお話しできません（一方で話している間は、相手の声は聞こえません）。相手側にメッセージを伝えるときは、側面の を押したまま話し、伝え終わったら を離します。**下図のように、交互にこの操作をくり返して通話します。

操作のしかた

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア(保留) を押し、「内線番号：」と表示されたら呼び出したい子機の内線番号を押す

例：子機２を呼び出したとき

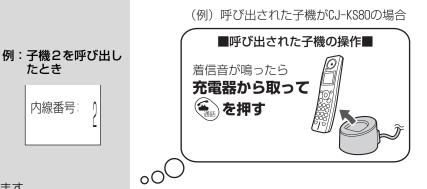
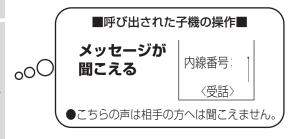
内線番号: 2

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機で通話ボタンを押すまで「ププププ…」と鳴ります。

2 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら
（「ププププ…」音が止まります）

側面の を押し続けながらメッセージを伝える

- 「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
- 相手の方の声は聞こえません。
- 相手の方が電話に出てから（ を離してから）10秒以上 を押さずにいると「プッブッ プッブッ」と鳴ります。

次ページへ→

子機と子機の間でお話しする（トランシーバー方式内線通話）

→つづき

3 子機

メッセージが終わったら

を離す

●「ピポッ」と鳴ります。

4 子機

相手の方が を押したら
お話しを聞く

内線番号: 2
〈受話〉

●こちらの声は相手の方へは聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

相手の方がお話しを終えて を離したら

側面の を押し続けながらメッセージを伝える

内線番号: 1
〈送話〉

●「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
●相手の方の声は聞こえません。
●相手の方が を離してから、10秒以上 を押さずにいると「プッブッ ブッブッ」と鳴ります。

5 手順2～4をくり返してお話しする

■呼び出された子機の操作■

メッセージが終わったら

を離す

●「ピポッ」と鳴ります。

6 子機

通話をやめるときは
子機を充電器に戻す

●どちらの子機からでも通話をやめることができます。
●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

お知らせ

● 相手の方のお話しを聞いているときは、トランシーバーボタンを押さないでください。通話が切れることがあります。
● 子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。
● お話し中に電話がかかってきたときは
 ・ 呼び出し中や両者がトランシーバーボタンを押していないとき
 …内線通話が切れ、外線着信状態になります。
 通話ボタンを押すと電話に出ることができます。
 ・ どちらかがトランシーバーボタンを押してお話ししているとき
 …お話を聞いている方の受話口から着信音が聞こえます。
 相手がメッセージを伝え終えてトランシーバーボタンを離したあと、切ボタンを押し、外線着信状態になってから通話ボタンを押すと、電話に出ることができます。
● 増設子機CJ-KS4／CJ-KS7をご使用のときは、トランシーバー方式内線通話ができません。子機間ひと声通知（☞4-12ページ）はできます。

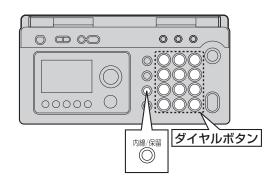
親機と子機の間で呼びかけをする（呼びかけコール）

親機から子機に呼びかける

相手が応答しなくても、スピーカーから呼びかけることができます。

操作のしかた

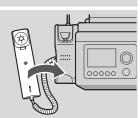
1 受話器を取って   **と押し、子機の内線番号を押す**

（例）子機１のとき ①

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
●すべての子機に一斉に呼びかけることはできません。

2 呼出音が一定の回数鳴ったあと **子機が自動的にスピーカー受話状態に切り替わる**

●子機側の音は、親機には聞こえません。
●スピーカーホンボタンが点滅しますが、スピーカーホン通話はできません。
●相手側で子機を取って内線通話をするときは、スピーカーホンボタンを押します。

3 受話器で子機側へ呼びかける

4 呼びかけコールをやめるときは **受話器を戻す**

お知らせ

● 呼びかけコールでは、子機側のスピーカー音量は「大」になります。子機側で呼びかけを受けているときに、スピーカー音量を切り替えることができます。（「切」には設定できません。）
● 子機のスピーカーホンでの内線通話はできません。（スピーカーホンボタンが点滅しますが、通話はできません。）
● 呼びかけコールでは、保留はできません。
● 呼びかけコール中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
● 呼びかけコールのときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
● 呼びかけコールの着信音色を変えることはできません。

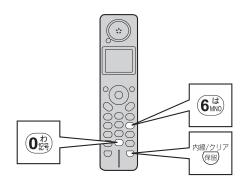
親機と子機の間で呼びかけをする（呼びかけコール）

子機から親機に呼びかける

相手が応答しなくても、スピーカーから呼びかけることができます。

操作のしかた

1 子機を充電器から取って

内線/クリア（保留） **を押し、**

「内線番号：」と表示されたら

6 0 と押す

●通話ボタンが点滅します。

2 呼出音が一定の回数鳴ったあと

親機が自動的に

スピーカー受話状態に

切り替わる

●親機側の音は、子機には聞こえません。

●親機側から内線通話にするときは、受話器を取ります。

3 **親機側へ呼びかける**

●親機側から内線通話にするときは、受話器を取ります。

4 呼びかけコールをやめるときは

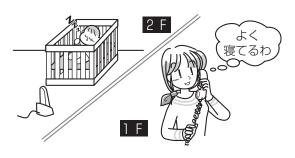
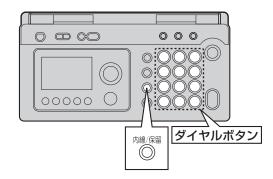
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

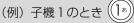
お知らせ

- 呼びかけコールでは、親機側のスピーカーの音量は４段階目の設定になります。親機側で呼びかけを受けているときに、スピーカー音量を切り替えることができます。（「切」には設定できません。）
- 呼びかけコールの着信音色を変えることはできません。
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、呼びかけコールの呼出音は最小の大きさで鳴ります。
- 子機どうしでの呼びかけコールはできません。

親機から子機の音声をモニターする（音声ルームモニター）

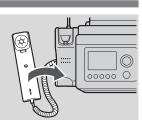
呼びかけコール機能を利用して、呼出音を鳴らさずに、呼び出し先の周囲の音を聞く（モニターする）ことができます。

操作のしかた

1 受話器を取って
と押し、子機の内線番号を押す

（例）子機１のとき ①あ

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機が自動的にスピーカーホン状態になり、周囲の音声が聞こえる

●子機のマイクから約50cm～2mの範囲内の音声が聞こえます。
●親機側の音は、子機には聞こえません。
●子機側で着信音は鳴りません。
●子機のスピーカーホンボタンは点灯しますが、内線通話はできません。（親機から呼びかけても、子機側には聞こえません。）

3 音声ルームモニターをやめるときは**受話器を戻す**

お知らせ

● 音声ルームモニターでは、保留はできません。
● 音声ルームモニター中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
● 音声ルームモニターのときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
● 子機から親機や、子機どうしでの音声ルームモニターはできません。

電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

親機から子機へ電話をとりつぐ

親機で受けた電話を子機へとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 親機

（例）子機１のとき

通話中に 内線/保留 **を押し、子機の内線番号を押す**

- 相手の方には、保留メロディが流れます。
- 子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
- 複数の子機を使用している場合、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。（内線シフトコール）
- 増設されているすべての子機を呼び出すときは（一斉呼び出し）、トーン を押します。

2 子機

着信音が鳴ったら

充電器から取って **を押す**

- 通話ボタンが点灯します。

3 親機

電話をとりつぐことを伝えて

受話器を戻す

- 受話器を置くと、子機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても子機が出ないときは**

次の（操作方法１）または（操作方法２）の操作をします。

（操作方法１）

① 内線/保留 を押す
（呼び出しをやめて、保留になります。）

② もう一度 内線/保留 を押す
（相手の方との通話に戻ります。）

（操作方法２）

① 受話器を戻す

② 再度、受話器を取る
（相手の方との通話に戻ります。）

子機から親機へ電話をとりつぐ

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機にとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 子機

通話中に

内線/クリア 保留 **を押し、**

親機の内線番号（0わ記号）を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 相手の方には、保留メロディが流れます。

2 親機

着信音が鳴ったら

受話器を取る

- 子機とお話しできます。

3 子機

電話をとりつぐことを伝えて充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- このあと、親機で外の相手の方とお話しできます。

■ **呼び出しても親機が出ないときは**

① 内線/クリア 保留 を押す
（呼び出しをやめて、保留になります。）

② もう一度 内線/クリア 保留 を押す
（相手の方との通話に戻ります。）

お知らせ

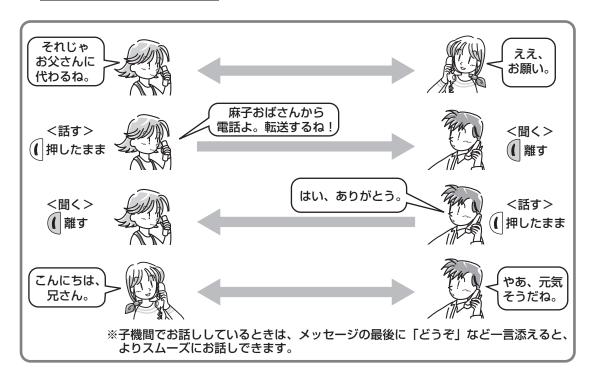
- とりつぎ転送するときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
- 子機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は「小」の大きさで鳴ります。
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさで鳴ります。

子機から子機へ電話をとりつぐ（トランシーバー方式転送）

UX-F34CWをお使いのとき、またはUX-F34CL/UX-F34CWにトランシーバー方式の内線通話に対応している子機（CJ-KS80、CJ-KS50）を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話を他の子機へトランシーバー方式でお話ししてから転送することができます。

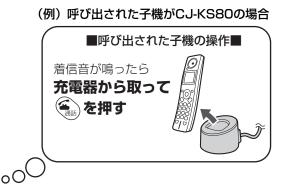
トランシーバー方式とは、一人ずつ交互に通話する方式です。同時にはお話しできません（一方で話している間は、相手の声は聞こえません）。相手側にメッセージを伝えるときは、側面の を押したまま話し、伝え終わったら を離します。下図のように、交互にこの操作をくり返して通話します。

操作のしかた

1 子 機

子機で外線通話中に

を押し、

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機で通話ボタンを押すまで「ププププ…」と鳴ります。
- 外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。

（例）呼び出された子機がCJ-KS80の場合

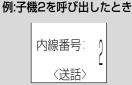
次ページへ→

子機から子機へ電話をとりつぐ（トランシーバー方式転送）

→つづき

2 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら
（「ププププ…」音が止まります）

側面の (を押し続けながら電話をとりつぐことを伝える

例:子機2を呼び出したとき

- 「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
- 相手の方の声は聞こえません。
- 相手の方が電話に出てから（ (を離してから）10秒以上 (を押さずにいると「プッププッ　プップッ」と鳴ります。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが聞こえる

内線番号: 1
〈受話〉

- こちらの声は相手の方へは聞こえません。

3 子機

メッセージが終わったら

(を離す

- 「ピポッ」と鳴ります。

■呼び出された子機の操作■

相手の方がお話しを終えて (を離したら

側面の (を押し続けながらメッセージを伝える

- 「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
- 相手の方の声は聞こえません。
- 相手の方が (を離してから、10秒以上 (を押さずにいると「プッププッ　プップッ」と鳴ります。

4 子機

相手の方が (を押したら
お話しを聞く

内線番号: 2
〈受話〉

- こちらの声は相手の方へは聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが終わったら (**を離す**

- 「ピポッ」と鳴ったあと、「プップップップッ」と鳴ります。

5 さらに、子機間でお話しするときは、手順2～4をくり返す

■呼び出された子機の操作■

保留メロディーが聞こえたら
（通話）または 内線/クリア（保留） を押す

- 外線の相手の方と通話できます。

6 子機

子機を充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ 呼び出している子機が出ないときは

内線/クリア（保留） を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア（保留） または （通話） を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

お知らせ

- 子機間でお話し中に、相手の方のお話しを聞いているときは、トランシーバーボタンを押さないでください。通話が切れることがあります。
- 子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。
- 増設子機 CJ-KS4 ／ CJ-KS7 をご使用のときは、トランシーバー方式転送ができません。子機間ひと声転送（☞4-13ページ）はできます。

電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。
また、子機を増設されたときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

親機から子機へとりつぐ

操作のしかた

1 親機

親機で通話中に
内線/保留 **を押し、**
受話器を戻す

2 子機

充電器から
取って **を**
押す

●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます

子機から親機へとりつぐ

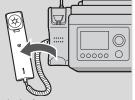
操作のしかた

1 子機

子機で通話中に
内線/クリア 保留 **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 親機

着信音が鳴ったら
受話器を取る

●相手の方とお話しできます。

子機から他の子機へとりつぐ

操作のしかた

1 子機

子機で通話中に
内線/クリア 保留 **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

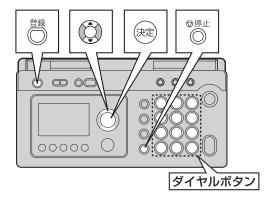
2 他の子機

充電器から取って
 を押す

●充電器に置いていないときは、そのまま通話ボタンを押します。
●クイック通話を使用する設定にしているときも通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

親機の電話帳に登録する

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、 で「電話帳」を選ぶ

```
 2:音関連設定
 3:コピ-設定
▶4:電話帳
```

2 決定 を押し、「登録」を選ぶ

```
▶1:登録
 2:転送
```

3 決定 を押す

```
名前?          [漢]
```

4 名前を入れる（最大全角10文字／半角20文字）

```
名前?          [漢]
池田 悟
```

●名前の入力を省略するときは、決定ボタンを押して手順7に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。

5 決定 を押す

```
読み?        半[カナ]
ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ
```

●「読み」に変更があれば修正します。
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
●名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

■ **文字を入力するときは**
（☞2-29～2-32ページ）

6 「読み」が正しければ 決定 を押す

```
電話番号?(第1番号)
NO.=
相手NO.ｾｯﾄください
```

7 電話番号（第1番号）を入れる（最大32ケタ）

```
電話番号?(第1番号)
NO.=0312345678
最後に決定を押します
```

●番号を入れまちがえたときは、消去ボタンを押すと、１つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。
●市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞5-2ページ）や着信鳴り分け（☞5-20～5-21ページ）が働かなくなります。
●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるときや着信鳴り分けをさせるときは、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。

8 決定 を押す

```
電話番号?(第2番号)
NO.=
相手NO.ｾｯﾄください
```

9 電話番号（第2番号）を入れる（最大32ケタ）

```
電話番号?(第2番号)
NO.=09012345678
最後に決定を押します
```

●第2番号の入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。

→次ページへ

→つづき

10 決定 を押す

登録しました

●続けて登録するときは、4～10の操作をくり返します。

11 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

■ **登録した内容を確認するときは**

電話番号リストをプリントします。

（操作方法1）

① 登録 を押す

② で「印刷」を選び 決定 を押す

③「電話帳リスト」を選ぶ

④ 決定 を押す

（操作方法2）

① 電話帳 を押す

② コピー を押す

■ **親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞2-44ページ）**

■ **ポーズについて**

電話番号の入力時に 再ダイヤル を押すと、約３秒間の待ち時間（ポーズ）が入力できます。続けて入力することもできます。

ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。また、子機に電話帳を転送したとき、子機でナンバー・ディスプレイを利用していても番号が表示されません。
ディスプレイにはー（ハイフン）で表示されます。

■ **ナンバー・ディスプレイの名前表示とは（☞5-2ページ）**

■ **ナンバー・ディスプレイの着信鳴り分けとは（☞5-20～5-22ページ）**

お知らせ

● 親機の電話帳には、あらかじめ次の２件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	１１７
≫天気予報	１７７

● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストをプリントして、確かめてください。

● 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます。（☞5-18ページ）

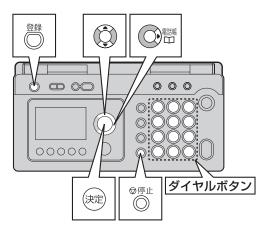
● ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞5-2ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞5-20ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。

● 市外局番の前に「184」、「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞5-2ページ）や着信鳴り分け（☞5-20～5-22ページ）が働かなくなります。

● 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。

● 親機の電話帳の内容をプリントしているときは、子機で電話をかけたり、受けたりすることはできません。

親機の電話帳を修正する

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 電話帳 **を押す**

2 で修正する相手の方を選ぶ

```
池田 悟
▶0312345678
 09012345678
```

3 登録 **を押す**

```
名前？        [漢]
池田 悟
```

4 名前を入れ直す

```
名前？        [漢]
池田 勝
```

●名前を修正しないときは手順5に進んでください。

5 決定 **を押す**

6「読み」を入れ直す

●「読み」を修正しないときは手順7に進んでください。

7 決定 **を押す**

```
電話番号？（第1番号）
NO. =0312345678
最後に決定を押します
```

8 電話番号（第1番号）を入れ直す

```
電話番号？（第1番号）
NO. =0387654321
最後に決定を押します
```

●消去ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
●第1番号を消去したときは、第2番号が登録されているときのみ、第2番号が自動的に第1番号として登録されます。
このときは、ホットラインダイヤル（☞2-47ページ）の内容も、自動的に第2番号に変更されます。
●第1番号を修正しないときは手順9に進んでください。

9 決定 **を押す**

```
電話番号？（第2番号）
NO. =09012345678
最後に決定を押します
```

10 電話番号（第2番号）を入れ直す

```
電話番号？（第2番号）
NO. =09087654321
最後に決定を押します
```

●第2番号を修正しないときは手順11に進んでください。

11 決定 **を押す**

```
登録しました
```

■ **文字を入力するときは（☞2-29～2-32ページ）**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

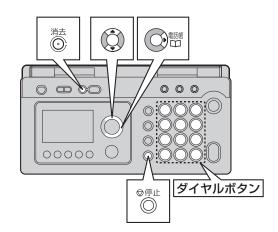
■ **一つ前に戻るときは**

消去 を押します。

親機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を１件ずつ消去することができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 電話帳 **を押す**

2 （上下）**で消去する相手の方を選ぶ**

池田 悟
▶0312345678
09012345678

3 消去 **を押す**

4 **もう一度、** 消去 **を押す**

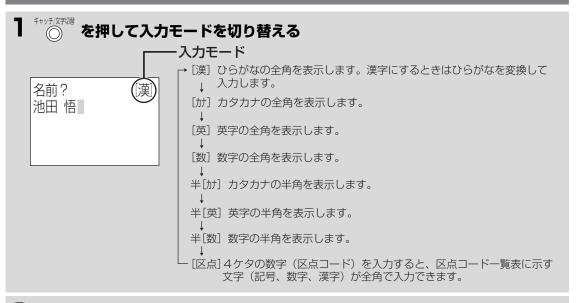
5 停止 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **親機の電話帳をすべて消去するときは**
（☞7-3ページ）

親機で文字を入力する

電話帳に名前を登録するときなど、文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを使って入力します。
(☞2-25ページなど)
親機ではキャッチ／文字切替ボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

操作のしかた

1 キャッチ/文字切替 を押して入力モードを切り替える

2 入力モードを選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ

[漢]（ひらがな）モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表のひらがなが全角表示されます。漢字にするときは、ひらがなを変換して入力します。

（例）1あ を押したとき

押すたびに表示される文字が切り替わります。

あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ

[カナ]、[英]、半［カナ]、半［英］モード

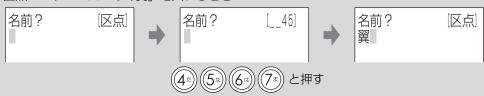
ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表の文字が全角または半角で入力できます。

[数]、半［数］モード

ダイヤルボタンに表示されている数字が全角または半角で入力できます。

[区点］モード

区点コード一覧表を見ながら、ダイヤルボタンで4ケタの数字を入れます。

（例）区点コード：4567の「翼」を入れるとき

■ **親機の文字入力一覧表を見るときは（☞2-30ページ）**

■ **漢字を入力するときは（☞2-31ページ）**

■ **区点コード一覧表を使うときは（☞7-11～7-16ページ）**

文字入力一覧表

入力モード＼入力ボタン	全角 ひらがな [漢]	全角 カタカナ [カナ]	全角 英字 [英]	全角 数字 [数]	半角 カタカナ (※1) 半[カナ]	半角 英字(※2) 半[英]	半角 数字 半[数]	全角 区点コード [区点]
1(あ)	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . ー _	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@ .-_	1	「区点コード一覧表」参照(※)
2(か)	かきくけこ	カキクケコ	ABC abc	2	ｶｷｸｹｺ	ABC	2	
3(さ)	さしすせそ	サシスセソ	DEF def	3	ｻｼｽｾｿ	DEF	3	
4(た)	たちつてと っ	タチツテト ッ	GHI ghi	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI	4	
5(な)	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL jkl	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL	5	
6(は)	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO mno	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO	6	
7(ま)	まみむめも	マミムメモ	PQRS pqrs	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS	7	
8(や)	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV	8	
9(ら)	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ	9	
0(わ)	わをんー □(スペース) 。、	ワヲンー □(スペース) 。、	, : ! ? & / ( ) [ ] □(スペース)	0	ﾜ ｦ ﾝ ｰ □(スペース)	※4	0	
トーン(*)	濁点/半濁点		無効	*	濁点/半濁点	無効	*	無効
(#)	無効			#	無効		#	無効
(左右キー)	カーソル左右移動							
(上下キー)	[漢] モード時は、かな漢字変換							
消去	カーソル上の1文字を消去							
キャッチ/文字切替	文字の種類の切り替え							

(※)：区点コードについては7-11～7-16ページをごらんください。

ひらがな／漢字を入力する

「池田」と入力するときは次のように入力します。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 キャッチ/文字切替 で文字の種類［漢］を選ぶ

名前？ ［漢］

●はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、［漢］になっています。（かなは一度に10文字まで入力できます。）

2 1あ を2回押す

＞い

●くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

3 2か を4回押す

＞いけ

4 4た を1回押す

＞いけた

5 トーン を押す

＞いけだ

6 を押して「池田」を選ぶ

＞池田

●ボタンを押すたびに切り替わります。

7 決定 を押す

名前？ ［漢］
池田

●文字を採用します。
●続けて文字を入力するときは手順１～７をくり返し操作します。
● を押してカーソルを移動して文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

■ **文字の種類を選ぶときは（☞2-29ページ）**

■ **変換の区切りを変えたいときは**
ひらがなを一度漢字に変換したあと、 を押して変換する部分を変更します。

■ **ひらがなを入力するときは**
［漢］モードでひらがなを入力したあと、 で漢字に変換せずに 決定 を押します。

お知らせ
● 変換して10文字以上になった文字は 決定 を押すまで10文字までしか表示されません。

2 電話 電話帳 留守番

親機で文字を入力する

カタカナ／英字／数字を入力する

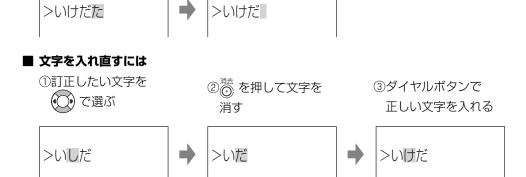
「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

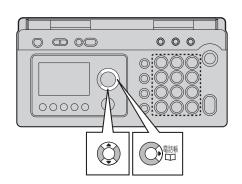
■ **文字の種類を選ぶときは**（☞2-29ページ）

■ **カタカナ（半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）を入力するときは**
手順１で入力したい文字の種類を選んで、手順２以降の操作をしてください。

文字を修正する

■ **文字を消すには**
消去 を押すと、カーソルの１つ前が消えます。（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）
すべての文字を一度に消すことはできません。

親機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、頭文字をもとに記号→数字（0～9）→英字（A～Z）→50音順に並べられています。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 電話帳 **を押す**

2 **で相手の方を選ぶ**

池田 悟
▶0312345678
09012345678

●はじめは第1番号が選ばれています。
第2番号にかけるときは、 で第2番号にカーソルを移動します。

3 受話器を取る

池田 悟
0312345678

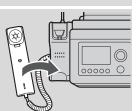
●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

4 相手の方とお話しする

5 通話が終わったら
受話器を戻す

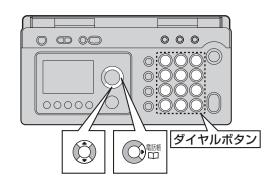
■ **途中でやめるときは**
相手の方を選んでいるときは 停止 を押します。
通話中は受話器を戻します。

■ **受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは（184や186などをつけて電話をかけるとき）**

① 受話器を取る
（184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは、このあと「184」や「186」をダイヤルします。親機が発信中のときは、②～⑤の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑤の操作を行ってください。）
② 電話帳 を押し、 で相手の方を選ぶ
③ 決定 を押す
④ 相手の方とお話しする
⑤ 通話が終わったら受話器を戻す

お知らせ

● 電話帳から自動的に電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。（「184」などダイヤルした番号では働きます。）

相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける

名前の頭文字を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 （電話帳）を押す

電話帳 6件
(残り 94件)

2 名前の頭文字を含む行のダイヤルボタンを押す

池田 悟
▶0312345678
09012345678

例 イケダ→ （1あ）

●ア～ワの各行ごとにしか検索できません。
●選んだ文字から近い名前の相手の方を表示します。

3 （▲▼）で電話をかける相手を選ぶ

4 受話器を取る

池田 悟
0312345678

●選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

5 相手の方とお話しする

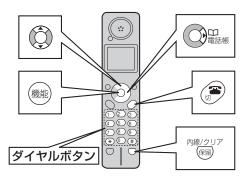
6 通話が終わったら **受話器を戻す**

■ **途中でやめるときは**

相手の方を選んでいるときは （停止） を押します。
通話中は受話器を戻します。

子機の電話帳に登録する

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。
子機では、１台につき最大100人分の番号を登録できます。また、１件につき自宅と携帯電話などの２つの番号を登録することができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 電話帳 **を押し、** **で「電話帳登録」を選ぶ**

電話帳検索
▶電話帳登録
◀終了　選択▶

2 **を押す**

3 名前を入力する（最大全角10文字／半角20文字）

名前　[漢]
矢部 弘
[機能] 決定

●名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順6に進みます。

4 機能 **を押す**

読み　半 [ｶﾅ]
ﾔﾍﾞ ﾋﾛｼ
[機能] 決定

●「読み」に変更があれば修正します。
「読み」の入力は半角文字で最大20文字まで入力できます。

5 「読み」が正しければ 機能 **を押す**

矢部 弘
第1番号？
[機能] 決定

6 電話番号（第１番号）を入れる（最大24ケタ）

矢部 弘
03123456789
[機能] 決定

●第１番号の入力は省略できません。
●番号を入れまちがえたときはクリアボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。クリアボタンを２秒以上押すと、すべての番号が消えます。
●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞5-5ページ）や着信鳴り分けさせるとき（☞5-22ページ）は、電話帳に番号を登録するときに、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
●市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞5-5ページ）や着信鳴り分け（☞5-22ページ）が働かなくなります。

7 機能 **を押す**

矢部 弘
第2番号？
[機能] 決定

→次ページへ

■ **文字を入力するときは（☞2-38〜2-41ページ）**

→つづき

8 電話番号（第2番号）を入れる（最大24ケタ）

矢部 弘
09012345678
[機能] 決定

●第２番号を省略するときは手順９へ進みます。

9 (機能) を押す

矢部 弘

登録しました
残り: 92

●「ピー」と鳴って残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。
●続けて登録するときは、手順１～９をくり返し行ってください。

■ **途中で登録を止めるには**

(切) を押します。

■ **子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（☞2-45ページ）**

■ **ポーズについて**

電話番号の入力時に 再ダイヤル/着信記録 を押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）が入力できます。続けて入力することもできます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

お知らせ

● 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます。（☞5-19ページ）
● 子機の電話帳にはあらかじめ、以下の２件分の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	１１７
≫天気予報	１７７

まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
● ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（☞5-2ページ）や着信鳴り分けをさせているとき（☞5-22ページ）は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
● 市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（☞5-2ページ）や着信鳴り分け（☞5-22ページ）が働かなくなります。
● 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号（第１番号）が名前として登録されます。

子機の電話帳を修正する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

上田 ミキオ
0311112222
終了 第2

2 (機能) を押し、で「電話帳変更」を選ぶ

特番ダイヤル
電話帳変更
消去
戻る 選択

3 を押す

名前 [漢]
上田 ミキオ
[機能] 決定

4 「電話帳に登録する」(☞2-35～2-36ページ)の手順3以降の操作で変更する

●変更しない項目があるときは、機能ボタンを押して次の操作へ進みます。

■ **途中でやめるときは**

(切) を押します。

子機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を1件ずつ消去することができます。電話帳の内容を一度にすべて消去することはできません。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

上田 ミキオ
0311112222
終了 第2

2 (機能) を押し、で「消去」を選ぶ

特番ダイヤル
電話帳変更
消去
戻る 選択

3 を押す

消去する?
[機能] 決定

4 (機能) を押す

電話帳
消去しました
残り: 29

●「ピー」と鳴って消去されます。
●残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

(切) を押します。

子機で文字を入力する

子機では文字切替/キャッチボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

操作のしかた

1 文字切替/キャッチ ◯ **を押して入力モードを切り替える**

入力モード

[漢] ひらがなの全角を表示します。漢字にするときはひらがなを変換して入力します。
↓
[ｶﾅ] カタカナの全角を表示します。
↓
[英] 英字の全角を表示します。
↓
[数] 数字の全角を表示します。
↓
半[ｶﾅ] カタカナの半角を表示します。
↓
半[英] 英字の半角を表示します。
↓
半[数] 数字の半角を表示します。
↓
[区点] 4ケタの数字（区点コード）を入力すると、区点コード一覧表に示す文字（記号、数字、漢字）が全角で入力できます。

2 入力モードを選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ

[漢]（ひらがな）モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表のひらがなが全角表示されます。漢字にするときは、ひらがなを変換して入力します。

（例）1あ を押したとき

押すたびに表示される文字が切り替わります。

あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ（→あ に戻る）

[カナ]、[英]、半［カナ]、半［英］モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表の文字が全角または半角で入力できます。

[数]、半［数］モード

ダイヤルボタンに表示されている数字が全角または半角で入力できます。

[区点］モード

区点コード一覧表を見ながら、ダイヤルボタンで4ケタの数字を入れます。

（例）区点コード：4567の「翼」を入れるとき

4たGHI 5なJKL 6はMNO 7まPQRS と押す

■ **子機の文字入力一覧表を見るときは（☞2-39ページ）**

■ **漢字を入力するときは（☞2-40ページ）**

■ **区点コード一覧表を使うときは（☞7-11～7-16ページ）**

文字入力一覧表

入力モード／入力ボタン	全角				半角			全角
	ひらがな［漢］	カタカナ［ｶﾅ］	英字［英］	数字［数］	カタカナ半［ｶﾅ］	英字半［英］	数字半［数］	区点コード［区点］
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ ． ／ー＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@ . /-_	1	「区点コード一覧表」参照（※）
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	ABC	2	
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	DEF	3	
4 た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI	4	
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL	5	
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO	6	
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS	7	
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV	8	
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ	9	
0 わ 記号	わ を ん ー （スペース） 。 、	ワ ヲ ン ー （スペース） 。 、	， ： ！ ？ ＆ （ ） ［ ］ （スペース）	0	ﾜ ｦ ﾝ ｰ (ｽﾍﾟｰｽ)	, : ! ? & ( ) [ ] (スペース)	0	
トーン ＊	無効			＊	無効		＊	無効
＃	無効			＃	無効		＃	無効
スピーカーホン 発信／゛゜	濁点／半濁点		無効	無効	濁点／半濁点	無効	無効	無効
（左右キー）	カーソル左右移動							
（上下キー）	かな漢字変換／カーソル上下移動							
内線／クリア 保留	カーソル上の１文字を消去（２秒以上押し続けると、全ての文字を消去）							
文字切替／キャッチ	入力モード変換							

（※）　：区点コードについては7-11～7-16ページをごらんください。

ひらがな／漢字を入力する

「池田」と入力するときは次のように入力します。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 文字切替/キャッチ で
文字の種類［漢］を選ぶ

名前?　［漢］
［機能］決定

●はじめ、電話帳に登録するときや子機使用者表示を登録するときは、［漢］になっています。使用する目的によって異なります。

2 1あ **を2回押す**

>い
◆変換

●くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

3 ◎ **を1回押す**

>い
◆変換

●同じボタンを使って入力する文字（例:「あ」と「え」、「わ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは1文字目を入力したあと、◎を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

4 2かABC **を4回押す**

>いけ
◆変換

5 4たGHI **を1回押す**

>いけた
◆変換

6 スピーカーホン 発信 **を押す**

>いけだ
◆変換

7 ◎ **で「池田」を選ぶ**

変換候補番号が表示されます。

8 機能 **を押す**

名前　［漢］
池田
［機能］決定

●文字を採用します。
●続けて文字を入力するときは手順1～7をくり返し操作します。
●◎を押してカーソルを移動して文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

■ **一度に漢字変換できないときは**

◎で変換の区切りを変えて、漢字1文字ごとに変換します。

■ **文字の種類を選ぶときは**（☞2-38ページ）

■ **ひらがなを入力するときは**

［漢］モードでひらがなを入力したあと、 で漢字に変換せずに 機能 を押します。

カタカナ／英字／数字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 文字切替/キャッチ で

文字の種類［カナ］を選ぶ

●はじめ、電話帳に登録するときや子機使用者表示を登録するときは、[漢] になっています。使用する目的によって異なります。

2 1あ **を2回押す**

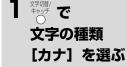
●くり返して押すと

ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ

の順に切り替わります。

3 2かABC **を4回押す**

名前　[ｶﾅ]
イケ
[機能] 決定

4 4たGHI **を1回押す**

名前　[ｶﾅ]
イケタ
[機能] 決定

5 スピーカーホン 発信/゛゜ **を押す**

名前　[ｶﾅ]
イケダ
[機能] 決定

■ **文字の種類を選ぶときは（☞2-38ページ）**

■ **カタカナ（半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）を入力するときは**

手順１で入力したい文字の種類を選んで、手順２以降の操作をしてください。

文字を修正する

■ **文字を消すには**

内線/クリア 保留 を押すと、カーソルの１つ前が消えます。（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）

>いけだた >いけだ

■ **文字を入れ直すには**

①訂正したい文字を で選ぶ

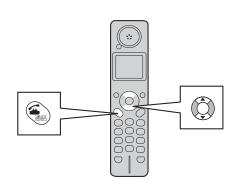
②内線/クリア 保留 を押して文字を消す

③ダイヤルボタンで正しい文字を入れる
（文字の種類を変えるときは、文字切替/キャッチ を押す）

>いしだ >いだ >いけだ

子機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
記号→数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

矢部 弘
▶09012345678
◀終了　第2▶

●選んだ相手の方の名前と第1番号が表示されます。
●第2番号を表示するときは、　を押します。

2 （通話）を押す

矢部 弘
09012345678

●子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。
●ダイヤルを始めます。

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**
（切）を押します。

■ **25ケタ以上の番号をダイヤルするときは**
電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。
第1番号と第2番号に入れて使うこともできます。
（チェーンダイヤル機能）
① で最初の番号を選ぶ
② （通話）を押す
③ を押す
④ で次の番号を選ぶ
⑤ （通話）を押す

お知らせ
● 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。

相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける

名前の頭文字を入力して、相手の方を選ぶこともできます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を押して「電話帳検索」を選ぶ

電話帳検索
電話帳登録
終了　選択

2 を押して入力画面を表示する

読み？ 半［カナ］
：検索

3 名前の「読み」の頭文字を入力する

（例）「マ」で探すとき

7 を押す

読み？ 半［カナ］
マ
：検索

- 最小1文字から最大12文字まで入力して検索できます。
  電話帳の読みのデータで検索します。
- 英・数字の場合は、文字切替／キャッチボタンを押して文字の入力モードを変えて入力してください。

■ **途中でやめるときは**

を押します。

4 で相手の方を選ぶ

松本 幸人
03111222444
終了

- 電話帳の中から、入力した文字に一番近い方の名前と第1番号が表示されます。
- 探す相手の方が表示されないときは、で相手の方を探します。
- 第2番号を表示するときは、を押します。

5 を押す

6 相手の方とお話しする

7 通話が終わったら**充電器に戻す**

- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

TEL

親機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。
親機から子機へ転送すると電話帳の内容が子機に追加されます。また、子機から親機へ転送すると電話帳の内容が親機に追加されます。

親機の電話帳を子機に転送する

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、 で「電話帳」を選ぶ

2:音関連設定
3:コピー設定
▶4:電話帳

2 決定 を押し、 で「転送」を選ぶ

1:登録
▶2:転送

3 決定 を押す

すべて転送するときは

4「全件転送」を選ぶ

▶1:全件転送
2:1件毎転送

1件ずつ転送するときは

4 で「1件毎転送」を選ぶ

1:全件転送
▶2:1件毎転送

↓

決定 を押し、 で転送したい相手の方を選ぶ

池田 悟

5 決定 を押し、 で転送先の子機を選ぶ

▶1:子機1へ転送
2:子機2へ転送
3:子機3へ転送

6 決定 を押す

●24ケタ以上の番号で登録しているデータは転送できません。（子機を増設した場合は、増設した子機によって変わります。）
●転送が完了すると、「ピー」と鳴って「完了しました」と表示されます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
消去 を押します。

■ **「転送できないデータがあります 操作を続けますか」と表示されたときは**
この表示は親機に24ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。（子機を増設した場合は、増設した子機によって変わります。）
決定 を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

お知らせ

● 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
● 親機の電話帳を転送しても、子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
● 転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。

子機の電話帳をすべて親機に転送する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押して**（上下）**で「電話帳転送」を選ぶ**

着信記録消去
再ダイヤル消去
▶電話帳転送
◀終了　選択▶

2 （右）**を押す**

転送する？
［機能］決定

3 （機能）**を押す**

電話帳転送
（転送中）
残り：15

↓

電話帳転送
完了しました

●親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」または「ピピピピ」と鳴って転送できません。
●転送が完了すると、「ピー」と鳴って、「完了しました」と約30秒間表示されたあと、待受画面に戻ります。（切ボタンを押しても、待受画面に戻ります。）

子機の電話帳を１件ずつ親機に転送する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （上下）**で転送したい相手の方を選ぶ**

上田 ミキオ
▶0312345678
◀終了　第2▶

2 （機能）**を押して**（上下）**で「電話帳転送」を選ぶ**

電話帳変更
消去
▶電話帳転送
◀戻る　選択▶

3 （機能）**を押す**

転送する？
［機能］決定

4 （機能）**を押す**

電話帳転送
（転送中）

↓

電話帳転送
完了しました

●親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」または「ピピピピ」と鳴って転送できません。
●転送が完了すると、「ピー」と鳴って、「完了しました」と約30秒間表示されたあと、待受画面に戻ります。（切ボタンを押しても、待受画面に戻ります。）

■ **途中でやめるときは**
（切）を押します。

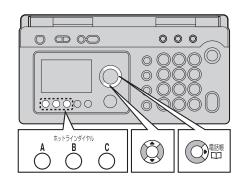
親機と子機の間で電話帳を転送する

お知らせ

- 転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
- 電源コードを子機や充電器の近くにたばねて置くと、転送できないことがあります。
  この場合、コードを伸ばすなどしてコードの位置を変えてください。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 名前の先頭が"》"ではじまっているものは、転送動作は完了しますが、親機の電話帳には登録されません。
- 転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。
- 子機から他の子機へ転送することはできません。
- 転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が 100 件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 工場出荷時にあらかじめ登録されている電話番号（天気予報、時報）を転送することはできません。
- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。
  ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 子機の電話帳を転送しても、親機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送を行っても登録されていた電話帳の内容は消えません。

ホットラインダイヤルを利用する

よく電話をかける相手の方をホットラインダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。（ホットラインダイヤル）
ホットラインダイヤルを登録するにはあらかじめ電話帳に登録しておく必要があります。(☞親機 2-25～2-26、子機 2-35～2-36ページ)

親機のホットラインダイヤルに番号を登録する

操作のしかた 受話器を置いたままで操作します。

1 電話帳を押してから、◎で相手の方を選ぶ

池田 悟
▶0312345678
09012345678

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

2 ホットラインダイヤル A B C いずれかのホットラインダイヤルボタンを押す

●「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号を登録します。

■ **ホットラインダイヤルの登録を変更するときは**
操作のしかたの手順１からやり直します。
先に登録されていた内容は消去されます。

■ **ホットラインダイヤルの登録を解除するときは**
番号を登録したホットラインダイヤルボタンを２秒以上押します。
（「ピー」と鳴ったあと、ホットラインダイヤルの登録は自動的に解除されます。）

親機のホットラインダイヤルで電話をかける

操作のしかた

1 受話器を取る

2 番号を登録したホットラインダイヤルボタンを押す

池田 悟
0312345678

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら**受話器を戻す**

お知らせ

- ホットラインダイヤルの登録は、3つ（A, B, C）まで登録できます。
- ホットラインダイヤルに登録した、元の電話帳の内容を変更・消去すると、ホットラインダイヤルの内容も変更・消去されます。

子機のホットラインダイヤルに番号を登録する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (ナビキー) **で登録したい相手の方を電話帳から選ぶ**

矢部 弘
▶0312345678
◀終了　第2▶

●選んだ相手の方の名前と第1番号が表示されます。
●第2番号は登録できません。

2 (ホットラインダイヤル) **を押す**

●「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号を登録します。

3 (切) **を押す**

■ **ホットラインダイヤルの登録を変更するときは**

操作のしかた の手順1からやり直します。
先に登録されていた内容は消去されます。

■ **ホットラインダイヤルの登録を消すときは**

(ホットラインダイヤル) を2秒以上押します。
(「ピー」と鳴ったあと、ホットラインダイヤルの登録は自動的に解除されます。)

子機のホットラインダイヤルで電話をかける

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (ホットラインダイヤル) **を押す**

矢部 弘
0312345678

●スピーカーホン通話で電話をかけます。
●通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯して、自動的にダイヤルを始めます。

2 相手の方が電話に出たら
相手の方とお話しする

3 通話が終わったら
(切) **を押す**

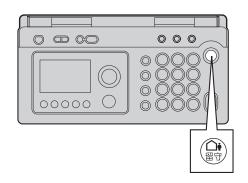
■ **途中でやめるときは**

(切) を押します。

お知らせ

- ホットラインダイヤルの登録は、それぞれの子機に1つです。
- 通話ボタンを押したあと、ホットラインダイヤルボタンを押しても、電話をかけることができます。
- ホットラインダイヤルに登録した、元の電話帳の内容を変更・消去すると、ホットラインダイヤルの内容も変更・消去されます。

留守に設定する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、１件につき最大約３分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約12分間または、30件までです。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 を押す

固定応答メッセージ

●固定応答メッセージが流れます。
●録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージ
「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

■ 自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）にするときは

① あらかじめ応答メッセージを録音する
（☞2-55ページ）
② 留守 を押す
③ 固定応答メッセージが流れている間に # を押す

■ オリジナルメッセージを選んだときは

いったん留守設定したときに、オリジナルメッセージを選んでおくと、次に留守設定したときも、オリジナルメッセージになります。

■ オリジナルメッセージから固定メッセージにするときは

① 留守 を押す
② オリジナルメッセージが流れている間に
 を押す

■ 固定応答メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは

はじめは２秒に設定されています。１秒または４秒に変更することができます。
（発信音待ち時間 ☞7-5ページ）

お知らせ

● オリジナルメッセージにしたときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。（☞2-50ページ）
● 録音時間が残り１分以下、または残りの件数が３件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。（☞2-54ページ）
● ファクスのメモリー受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
● 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「受信データがあります」と表示されます。（☞3-20ページ）
● 留守設定中は、他の受信モード（FAX優先/FAX専用）は働きません。
留守設定が優先されます。

固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（インクリボンがないときなど）	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	着信音が鳴り続けて、応答しません。

■ **応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）**

応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を設定します。はじめは「04回」に設定されています。

① 登録 を押す

② ⊙ で「音関連設定」を選び、決定 を押す

③ ⊙ で「親機着信音」を選び、決定 を押す

④ ⊙ で「留守時コール回数」を選び、決定 を押す

⑤ ⊙ で「回数選択」を選び、決定 を押す

⑥ ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回～25回）

⑦ 決定 を押す

⑧ 停止 を押す

■ **相手の方が自動送信でファクスを送っているときは**

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ **留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（お声拝聴）（☞7-5ページ）**

留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます。

① 登録 を押す

② # を4回押す

③ 決定 を押す

④「留守録モード」を選び、決定 を押す

⑤ ⊙ で「お声拝聴」を選び、決定 を押す

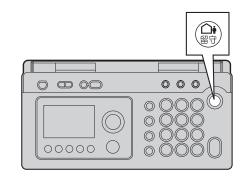
⑥ ⊙ で「あり」または「なし」を選び、決定 を押す

⑦ 停止 を押す

お知らせ

- 応答メッセージが流れている間や録音している間に受話器を取ると、通話できます。（親機、子機とも）
- メモリー容量がないとき（メモリーがいっぱいのとき）は、ファクスをメモリー受信することや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。また、メモリーがいっぱいで記録紙やインクリボンがないときは、着信音が鳴り続けて自動応答しません。もとの応答メッセージに戻すときは、メモリー受信データをプリントするか（☞3-20ページ）、不要な録音を消去してください。（☞2-54ページ）
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

留守設定を解除する

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 を押す

```
3月10日 4:45PM 1件
未再生録音があります
```

録音されている件数が表示されています。

↓

```
< 3月10日 4:01PM>
 1 件目 再生中
```

- ●留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に1回再生します。
- ●再生中は「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」ことができます。
- ●録音内容を1件再生するごとに、録音された時刻を音声でお知らせします。

■ 留守ボタンが点滅しているときは

- ● 留守に設定中に留守ボタンが点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
- ● 留守を解除したあとでも、「未再生録音があります」と表示されているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音、留守録）があります。
  再生 を押して約3秒以上再生すると再生済みになります。
- ● まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を聞く（再生する）」（☞2-52～2-53ページ）の操作をします。

留守設定以降の再生について

留守設定　　留守設定解除

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません。

■ 留守設定を解除せずに留守録を聞くには（2-52ページ）

■ 再生中の操作について（☞2-52ページ）

■ 親機のディスプレイに「受信データがあります」と表示しているときは

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データをプリントすると「受信データがあります」の表示が消えます。
（☞3-20ページ）

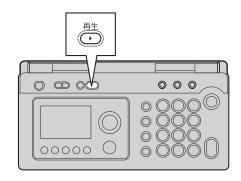
■ 再生を途中でやめるときは

停止 を押します。

お知らせ

- ● 日付は録音されていません。再生中は、親機のディスプレイに日付と時刻が表示されます。
- ● 曜日は親機のディスプレイに表示されません。また録音もされません。
- ● 親機の時刻設定がまちがっていると、まちがった時刻が記録されます。（☞1-16、1-17ページ）
- ● 一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
- ● 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。

録音されている内容を聞く（再生する）

親機に録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。

親機で録音内容を再生する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 再生 を押す

< 3月10日 4:01PM>
1 件目 再生中

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約３秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（4件目の位置）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ **再生を途中でやめるときは**

 を押します。

再生中は次のような操作ができます

次の録音にとばすときは

再生中に、# を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、再生 を押す（速くなる）

もう一度、再生 を押す（遅くなる）

もう一度、再生 を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、＊トーン を押す

１つ前の録音に戻すときは

再生中に、＊トーン を２回続けて押す

今聞いている録音の１件前から再生します。聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して ＊トーン を押します。（１回押すごとに１件ずつ）

３秒以上再生したあと、ボタンを２回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	**6件目**
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	**未再生**

聞きたい録音まで戻すときは、さらに ＊トーン をくり返し押してディスプレイで件数を確認する

１つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。

録音されている内容を聞く（再生する）

子機で録音内容を再生する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音量
◀終了　選択▶

2 （◎）**を押す**

5:戻し
6:送り
9:早聞き

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。
（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）
● 子機で録音内容を再生しても、留守設定は解除されません。

留守設定しているとき

留守設定（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ 再生を途中でやめるときは

（通話）を押します。

再生中は次のような操作ができます

次の録音にとばすときは

再生中に、（6 は MNO）を押す

早聞きするときは

再生中に、（9 ら WXYZ）を押す

もとに戻すときは、もう一度、（9 ら WXYZ）を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、（5 な JKL）を押す

１つ前の録音に戻すときは

再生中に、（5 な JKL）を２回続けて押す

今聞いている録音の１件前から再生します。聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して（5 な JKL）を押します。（１回押すごとに１件ずつ）

３秒以上再生したあと、（5 な JKL）ボタンを２回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに（5 な JKL）をくり返し押す

１つ前の録音に戻る

■ 再生中に電話がかかってきたら

再生が止まってから着信音が聞こえます。このあと（通話）を押すと通話できます。

お知らせ

● 一度聞いた不要な用件は消去してください。（☞2-54ページ）録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
● 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
● 親機の時刻設定（☞1-16、1-17ページ）がまちがっていると、まちがった時刻が記録されます。

録音されている内容を消去する

一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。

録音を1件消去する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 消したい録音を再生中に 消去 **を2回押す**

1件目 消去しました

録音をすべて消去する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 消去 **を押す**

一般録音消去
[決定] で決定

2 決定 **を押す**

消去しました

■ **親機の録音メモリーの残量を確認するときは（FAX/録音メモリー残量表示）**

① 登録 を押す

②「詳細設定」を選び、決定 を押す

③「メモリー使用量表示」を選び、決定 を押す

（例）

メモリー使用量　10パーセント

④ 停止 を押す（待受画面に戻ります）

オリジナル応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを１種類録音できます（オリジナルメッセージ）。録音できる時間は他の録音と合わせて最大約12分です。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、◇ で「音関連設定」を選ぶ

1:初期設定
▶2:音関連設定
3:コピー設定

2 決定 を押し、◇ で「応答メッセージ」を選ぶ

1:音量調整
2:親機着信音
▶3:応答メッセージ

3 決定 を押し、「録音」を選ぶ

▶1:録音
2:消去
3:再生

4 決定 を押す

オリジナル 録音
受話器お取りください

5 受話器を取る

6 決定 を押し、受話器で応答メッセージを話す

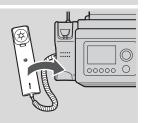
応答メッセージの例
「はい、○○です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

7 録音が終わったら 停止 を押し、受話器を戻す

●録音したメッセージを再生します。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **応答メッセージの内容を変えるときは**
録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ **応答メッセージの内容を聞くときは**
操作のしかた の手順３で「再生」を選び、決定 を押します。
オリジナル応答メッセージが録音されているときは、オリジナル応答メッセージが再生されます。
オリジナル応答メッセージの再生中に トーン(＊) を押すと、固定応答メッセージを再生することができます。固定応答メッセージの再生中に (#) を押すと、オリジナル応答メッセージを再生することができます。

■ **応答メッセージを消すときは**
操作のしかた の手順３で「消去」を選び、決定 を２回押します。

■ **自分で録音した応答メッセージ（オリジナル応答メッセージ）にするときは**
① 留守 を押す
② 固定応答メッセージが流れている間に (#) を押す

お知らせ
● 応答メッセージを設定していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。（☞2-50ページ）記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。

第3章
コピー／ファクス

ページ

コピー／ファクスをする前に

<コピー>

コピーする

<ファクス>

ファクスを送る

電話帳やホットラインダイヤル、再ダイヤルでファクスを送る

ページ

子機の操作でファクスを送る

ファクスの受けかた

電話に出てからファクスを受ける

電話に出ないで自動的にファクスを受ける

コピー／ファクスをする前に

使用できる原稿

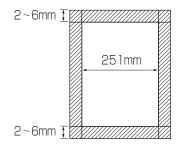
■ セットできる原稿のサイズ

● セットできる記録紙のサイズがA4サイズなので、B4サイズの原稿（257mm × 364mm）をコピーする場合は、A4サイズに縮小してコピーする必要があります。
（縮小コピー ☞3-6ページ）
また、A4サイズの長さを超える原稿をA4サイズに分割してコピーすることができます。
（分割コピー ☞7-7ページ）

〈厚さの目安〉
新聞紙の厚さは約0.05～0.06mmです。
上質紙の厚さは約0.10mmです。
官製はがきの厚さは約0.23mmです。

■ 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

- ●最大読み取り幅　251mm
- ●最大読み取り長
  送信原稿長（128～500mm）から上下とも2～6mmを引いた長さ

■ 一度に2枚以上セットできない原稿

- ●長さ364mmを超える原稿
- ●厚さ0.12mm（90kg用紙……四六判（788 × 1091mm）の用紙1000枚の重量）を超える原稿
- ●厚さや大きさの異なる原稿

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。

- ●サイズが規定より小さすぎるもの
  （例：写真など）
- ●フィルム状のもの
- ●紙の厚さが薄すぎるもの
- ●しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- ●裏カーボン紙、感熱紙など
- ●コーティングされているもの

■ 自動縮小機能について

ファクス送信のとき、原稿サイズがB4で、相手側の記録紙がA4サイズのときは、自動的にA4サイズに縮小します。

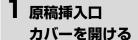
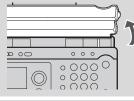
お知らせ

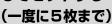
- ● クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- ● 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。汚れたときは、6-3～6-4、6-5ページを参照して清掃してください。
- ● 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。「原稿がつまったときは」を参照して取り出してください。（☞6-6ページ）

原稿をセットする

コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に5枚まで）

操作のしかた

1 原稿挿入口カバーを開ける

2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

3 原稿はウラ向きに！コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に5枚まで）

●原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

■ **6枚以上の原稿があるとき**

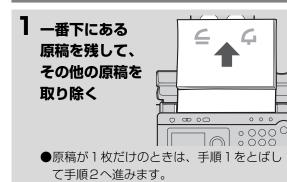
5枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送り出されて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

原稿を取り出す（原稿排出）

操作のしかた

記録紙をセットしているときは記録紙を取り出してから操作します。

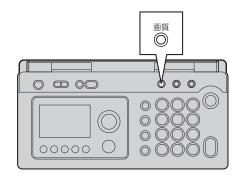
1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く

●原稿が１枚だけのときは、手順１をとばして手順2へ進みます。

■ **原稿が排出されないときは**（☞6-6ページ）

2 原稿排出 ◎ を押す

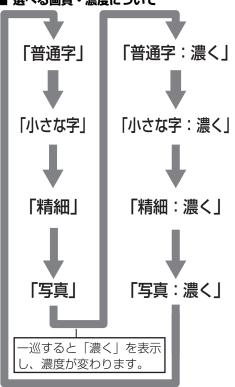
3 原稿が自動的に排出されます

コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。

操作のしかた 原稿をセットした状態で操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 画質◎ を押すたびに切り替わる

普通字

■ **選べる画質・濃度について**

●文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

●文字が小さな字のときに選びます。（「普通字」の2倍の密度で読み取ります。）画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

●細い線を使った図面や、更に小さな字のときに選びます。
（「普通字」の4倍の密度で読み取ります。）
受信側に「精細」がないときは、自動的に「小さな字」に切り替わります。

●濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

※原稿の文字などが薄いときは「濃く」を選びます。

お知らせ

- 「普通字」に比べると、「小さな字」「精細」「写真」で送るとファクスの送信時間が長くかかります。
- コピーをするときは、「普通字」「精細」を選んでも、「小さな字」でコピーされます。また「普通字：濃く」「精細：濃く」を選んでも、「小さな字：濃く」でコピーされます。
- ファクスを送信する場合に画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」が選ばれます。
- ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- 「小さな字」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。

コピーする

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■ 法律で禁止されているもの

● 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

● 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

● 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。（郵便切手類模造等取締法）

● 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■ コピー（複製）する場合に注意を要するもの

● 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

● 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■ 著作権に注意するもの

● 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

等倍でコピーする

一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「小さな字」でコピーします。

■ コピーの途中で画質を切り替えるときは

コピー中に 画質 を押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません。）

■ コピー終了時の音声を切り替えるときは
（☞4-7ページ）

■ 拡大／縮小／複数枚コピーをするときは
（☞3-6ページ）

■ 原稿がつまったときは**（☞6-6ページ）**

2 コピー **を押す**

コピ－中 (A4) P. 1

●コピーが始まります。

■ 記録紙がつまったときは**（☞6-7ページ）**

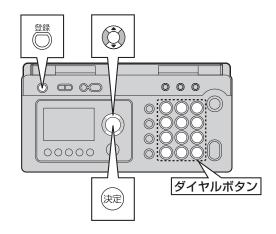
■ 途中でやめるときは

停止 を押します。
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

お知らせ

● 等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
● 通話中にコピーを始めることはできません。
● コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。また、コピー中は親機のオンフックボタンを押しても、動作しません。
● コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。
● 停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。

拡大／縮小／複数枚（マルチ）コピーする

拡大／縮小コピーや同じ原稿の複数枚コピー（マルチコピー）などができます。

操作のしかた

原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

- ●コピーする面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
- ●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「小さな字」でコピーします。

2 登録 **を押し、** ◎ **で「コピー設定」を選ぶ**

```
 1:初期設定
 2:音関連設定
▶3:コピー設定
```

3 決定 **を押し、** ◎ **でコピーの種類を選ぶ**

4 決定 **を押す**

- ●コピーが始まります。
- ●コピー終了後、等倍に戻ります。

■ 複数枚コピーのときにコピー枚数をまちがえたときは

消去 を押して、もう一度枚数を入力し直します。

■ 等倍コピーをするときは（☞3-5ページ）

■ 原稿がつまったときは（☞6-6ページ）

■ 記録紙がつまったときは（☞6-7ページ）

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。
（コピー中のときは、記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

手順3のときに……

「拡大 140パーセント」を選んだとき
140%に拡大してコピーします。

「縮小 80パーセント」を選んだとき
80%に縮小してコピーします。

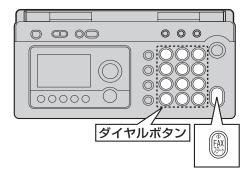
「マルチコピー」を選んだとき
複数枚のコピーをします。
①～⑤ を押して枚数を入力し、決定 を押します。（最大５枚）

お知らせ

- ● メモリー受信したデータがあるときは、拡大／縮小／マルチコピーはできません。
- ● 拡大／縮小／マルチコピーでは、画像をいったんメモリーに読み込みます。メモリー容量が少なくなってきたときは（メモリー残量表示 ☞2-54ページ）通常の等倍コピーでコピーしてください。
- ● コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。また、コピー中は親機のオンフックボタンを押しても動作しません。
- ● コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

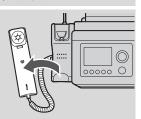
ファクスを送る

親機でお話ししてから ファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてから
ファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に5枚までセットできます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に５枚まで）
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

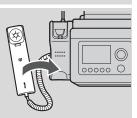
2 受話器を取る

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは（☞3-9ページ）

3 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
●押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）各ボタンの音声については、4-4ページの音声一覧をご覧ください。

4 相手の方が出たら
ファクスを送る
ことを伝えて
 を押す

●相手の方が電話を受けたらお話しすることができます。
●相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。
（おまかせ送信）
※お使いの環境によってはおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたらスタートボタンを押してください。
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。）つまった原稿は、6-6ページの手順で取り除いてください。

5 受話器を戻す

●受話器を戻しても回線は切れません。
●ファクス送信が終わると終了音が聞こえます。

■ **読上げボイスダイヤルの音声について**
（☞4-4ページ）

■ **送信前に途中でやめるときは**

受話器を戻します。

■ **相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは（☞3-9ページ）**

■ **６枚以上の原稿があるときは（☞3-3ページ）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞6-22ページ）**

■ **セットした原稿を取り出すときは（☞3-3ページ）**

■ **子機の操作でファクスを送るときは（☞3-12ページ）**

■ **原稿がつまったときは（☞6-6ページ）**

■ **海外へファクスを送る**

海外へファクスを送る場合、ファクス番号を以下のようにダイヤルします。
（例）アメリカ（1-212-123-4567）へ送る場合

XXXX 010 1 212 1234567

- 1234567：ファクス番号
- 212：市外局番
- 1：国番号（アメリカの場合）
- 010：０１０
- XXXX：電話会社の識別番号（「マイライン」「マイラインプラス」を契約されているときは，必要ありません。）

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは**

「終了音を設定する」（☞4-7ページ）の操作で切り替えます。
（お買いあげ時は「音声」になっています。）

■ **おまかせ送信とは**

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

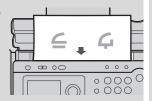
「親機のスピーカー音量を変える」（☞1-29ページ）の操作をしてください。

■ **読上げボイスダイヤル機能を設定／解除するときは（☞4-4ページ）**

お知らせ

- 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状態がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。
- 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。

親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 **を押す**

■ **送信前に途中でやめるときは**
オンフック を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞6-6ページ）**

3 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
●押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）

4 電話がつながったら
FAXスタート **を押す**

●送信が始まります。
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。）
●ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ **読上げボイスダイヤルの音声について（☞4-4ページ）**

お知らせ

● 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞3-7ページ）の方法で送信してください。
● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
● 相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」音が聞こえます。
● 読上げボイスダイヤル機能の発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声をやめ、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。

電話帳やホットラインダイヤル、再ダイヤルでファクスを送る

親機の電話帳やホットラインダイヤル、再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分の番号を登録できます。(☞2-25〜2-26、2-35〜2-36ページ)
相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。また、ホットラインダイヤルを使ってファクスを送ることもできます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

●送信する面を下にしてセットします。(一度に5 枚まで)
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

電話帳でファクスを送るとき

2 (電話帳)**を押し、**(◇)**で相手の方を選ぶ**

池田 悟
▶0312345678
09012345678

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

ホットラインダイヤルでファクスを送るとき

2 相手の方を登録したボタン
(ホットラインダイヤル A B C のいずれか)を押す

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 (再ダイヤル)**を押す**

池田 悟
0312345678

●ディスプレイで相手の方の名前(番号)を確認します。

■ **途中でやめるときは**
(停止)を押します。

3 (FAXスタート)**を押す**

●相手の方が受信操作をすると、自動的に送信を始めます。(ホットラインダイヤルで送信したときは、この操作をする必要はありません。)

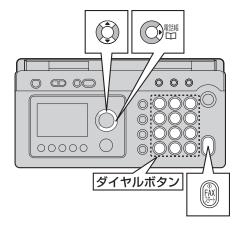
■ **「通信エラーがありました」と聞こえたら** **(☞6-22ページ)**
■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは** **(☞2-11ページ)**
■ **原稿がつまったときは** **(☞6-6ページ)**
■ **受話器を取ってファクスを送るときは**

① 受話器を取る
②「ツー」という音を確かめたあと、
電話帳で送るときは、(電話帳)を押して、(◇)で相手の方を選び、(FAXスタート)を押す
ホットラインダイヤルで送るときは、相手の方を登録したボタン(ホットラインダイヤル A B C のいずれか)を押す
再ダイヤルで送るときは、(再ダイヤル)を押す
③ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら(または、相手の方とつながったら)(FAXスタート)を押す
④ 受話器を戻す

お知らせ

● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号(発信元番号)ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。(必要に応じて相手の方に確認してください。)
● 電話帳やホットラインダイヤル、再ダイヤルから自動的にファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
● 自動送信がうまくいかないときは、「発信音検出」(☞7-7ページ)を「なし」に設定するか、受話器を取って送信してください。

親機の電話帳から名前の頭文字で検索してファクスを送る

名前の頭文字を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 電話帳 **を押す**

電話帳 6件 (残り 94件)

3 名前の頭文字を含む行のダイヤルボタンを押す

池田 悟
▶0312345678
09012345678

例　池田→ 1あ

●あ～わの各行ごとにしか検索できません。

●選んだ文字から近い名前の相手の方を表示します。

4 **で選ぶ**

5 FAX スタート **を押す**

●選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

●相手の方がファクス受信に切り替えると送信が始まります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞6-6ページ）**

お知らせ

● 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞3-7ページ）の方法で送信してください。

子機の操作でファクスを送る

子機の操作（ダイヤル／電話帳／再ダイヤル）でファクスを送る

親機にセットした原稿を、子機でダイヤルしてファクスを送ることができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 親機

原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

ダイヤルしてファクスを送るとき

2 子機

相手の方の番号をダイヤルしたあと、（通話）を押す

電話帳でファクスを送るとき

2 子機

（カーソル）で相手の方を選んだあと、
（通話）を押す

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 子機

（再ダイヤル/着信記録）を押したあと、
（カーソル）で相手の方を選び、
（通話）を押す

3 子機

相手の方が出たら
ファクスを送る
ことを伝えて
（機能）を押す

●機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

4 子機

充電器に戻す

■ **途中でやめるときは**
手順３を行うまでの間に、（切）を押します。

■ **原稿がつまったときは（☞6-6ページ）**

■ **子機の再ダイヤルの記憶を消去するときは（☞2-13ページ）**

■ **おまかせ送信とは（☞3-8ページ）**

お知らせ

● 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。
● 子機で再ダイヤルできるのは、24ケタまでです。
● 自動送信がうまくいかないときは、「発信音検出」（☞7-7ページ）を「なし」に設定してください。

子機の電話帳から名前の頭文字で検索してファクスを送る

子機の電話帳に登録されている相手の方を選ぶとき、名前の頭文字で検索して選ぶことができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 親機

原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 子機

を2回押す

読み？ 半 [カナ]
▲▼:検索

3 子機

相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する

読み？ 半 [カナ]
ヤ
▲▼:検索

例）「ヤ」で探す：

8（や TUV） **を1回押す**

4 子機

を押す

●入力した文字から始まる相手の方を表示します。

●該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

5 子機

で相手の方を選び、（通話）を押す

矢部 弘
0312345678

●相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

6 子機

相手の方が出たら

ファクスを送ること

を伝えて

（機能） **を押す**

●機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。

●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

7 子機

充電器に戻す

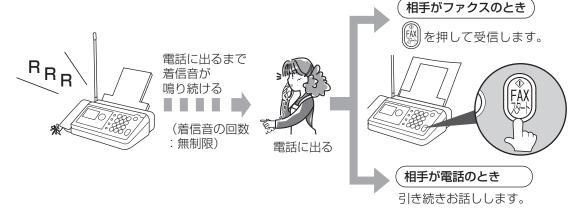
■ **おまかせ送信とは（☞3-8ページ）**

ファクスの受けかた

ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の2つの種類があります。

在宅モード（家にいるとき）

■ **在宅モード時の操作（☞3-16ページ）**

●お買いあげ時、着信音の回数は「無制限」になっています。

電話に出ないで、ファクスを受けることもできます。
着信音が一定の回数（1～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えます。
（☞3-18～3-19ページ）

> 相手の方が「ポー・ポー ...」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。
> FAX スタートボタンを押して受信してください。

また、ファクスを受信することが多い場合、以下の受信モードで使用されると便利です。

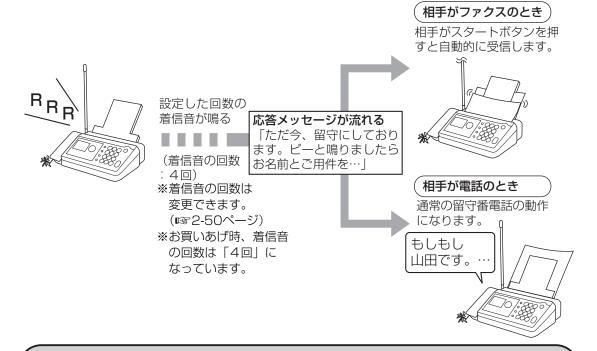
FAX優先……電話かファクス送信かを判断し、自動的に電話／ファクス受信に切り替えます。（☞7-8ページ）

FAX専用……ファクス受信のみ行います。正常にファクス受信できない場合のみ着信音を鳴らしてお知らせします。（☞7-8ページ）

お知らせ

- 着信音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。また、応答メッセージを流さないように設定することはできません。（応答メッセージが流れている間に受話器を取ると話すことができます。）
- お買い上げ時、着信音の回数は「無制限」になっていますので、ご不在のときは自動でFAXを受信することはできません。
  ご不在のときは「留守モード」にしておくことをお勧めします。

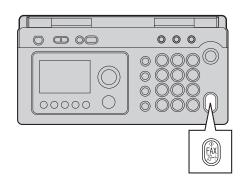
留守モード（留守にするとき）

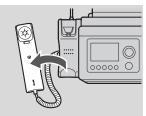
■ 留守モード時の動作（☞2-49～2-50ページ）

送られてきた原稿は、プリントするとき、全体を約93%に縮小します。

ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは、**受信縮小率**の設定（☞7-6ページ）を「等倍」にします。
※ただし、「等倍」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に１対１にならない場合があります。

電話に出てからファクスを受ける

親機で電話に出てから ファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。

操作のしかた 原稿をセットしていない状態で操作します。

1 着信音が鳴ったら **受話器を取る**

2 ファクスに切り替えることを相手の方に伝えて (FAXスタート) **を押す**

- 受信が始まります。
- 受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります。（おまかせ受信）

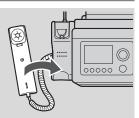
■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
（「おまかせ受信」を解除するには ☞7-5ページ）

※こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。

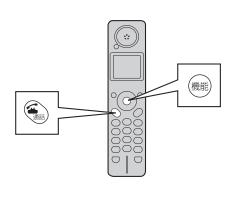
※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら (FAXスタート) （子機使用中のときは (機能) ）を押してください。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

3 受話器を戻す

- ファクス受信が終わると終了音が聞こえます。

■ **着信音が一定の回数（１～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えるときは**
（☞3-18～3-19ページ）

在宅モード時のコール回数を設定すると、設定したコール回数が鳴り「ポー・ポー…」という音を検出すると、ファクス受信に切り替わります。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたい場合は、「在宅時コール数」を６回以下に設定してください。
７回以上に設定されると相手の方が自動送信をされたときなどは、ファクスに切り替わりません。
また、相手の方が手動送信のときは、相手の方が送信の操作（スタートボタンを押す）をしたときだけファクス受信できます。

子機で電話に出てから ファクスを受ける

操作のしかた 親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

1 着信音が鳴ったら、**充電器から取って** **を押す**

●通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて **を押して、充電器に戻す**

●親機に原稿がセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

■ **おまかせ受信について**

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると「ファクスを受信します。」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。
(「おまかせ受信」を解除するには ☞7-5ページ)

※こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら (機能) を押してください。

お知らせ

- キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- プリント中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。
- 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、親機のFAXスタートボタンまたは、子機の機能ボタンを押してください。

電話に出ないで自動的にファクスを受ける

親機で自動的にファクスを受ける

着信音の回数を設定（☞3-19ページ）すると、一定の回数の着信音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

相手側

電話をかけている
（電話をかけたあと、ファクスを送ろうとしている）

プルル（1回目）
：
プルル（6回目）

固定応答メッセージが流れる

「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください。」

相手の方がスタートボタンを押す

こちら側（着信音の回数を6回に設定しているとき）

着信音が鳴る

プルル…

着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
通話したあと、ファクスを受信するには、FAXを押してから受話器を戻してください。

プルル（1回目）
：
プルル（6回目）

6回鳴っても電話に出ないとファクスから自動的に**固定応答メッセージが流れる**

「ただ今近くに…

応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

「ポー・ポー…」という音を検出すると**ファクスを受信します**

お知らせ

- 着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信や、ダイヤルしたあと、すぐにスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わらないことがあります。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、「自動的にファクスを受けるときの着信音の回数を変える」の操作で、着信音の回数を6回以下に設定してください。（☞3-19ページ）
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。（☞2-49〜2-50ページ）
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。このようなときは受話器を取ってから、スタートボタンを押して受信してください。
- 電話に出ないでファクスを受ける機能として「FAX優先で受信する」「FAXのみ受信する」などの設定があります。（☞7-8ページ）

自動的にファクスを受けるときの着信音の回数を変える

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、 で「音関連設定」を選ぶ

1:初期設定
▶2:音関連設定
3:コピー設定

2 決定 を押し、 で「親機着信音」を選ぶ

1:音量調整
▶2:親機着信音
3:応答メッセージ

3 決定 を押し、 で「在宅時コール回数」を選ぶ

1:着信音切替
▶2:在宅時コール回数
3:留守時コール回数

4 決定 を押し、 で「回数選択」を選ぶ

▶1:回数選択
2:無制限呼出

5 決定 を押す

現在無制限
01-25を入力

6 着信音の回数を入力する（01〜25回）

在宅時コール:　06回
[決定] で決定

（例）06回

7 決定 を押す

06 回にしました

8 停止 を押す

■ **「無制限呼出」になっているときは**
着信音が鳴り続けて、応答しません。
（お買いあげ時は「無制限呼出」になっています。）

■ **インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは**
着信音が鳴り続けて、応答しません。

■ **着信音の種類を変えるときは**
（☞1-26ページ）

メモリー受信したファクスをプリントする

メモリー受信した内容をプリントするときの操作です。
メモリーに受信したデータが保存されているときは、下のようにディスプレイ表示されます。

2月27日 9:00AM
受信ﾃﾞｰﾀがあります

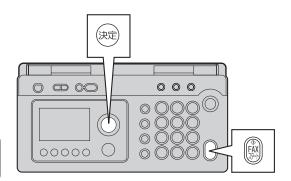
メモリー受信とは
送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

操作のしかた

1 FAXスタート **または** 決定 **を押す**

ﾒﾓﾘｰ枚数 1枚
記録紙をｾｯﾄして 決定

2 記録紙やインクリボンをセットして 決定 **を押す**

●すべての受信データのプリントを開始します。プリントが終わると受信データが消えます。

■ **途中でやめるときは**

 を押します。

■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換（☞6-8～6-10ページ）してください。

■ **メモリー受信枚数・受信件数について**

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で約22枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。（最大でも約60枚または30件までです。）
受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。

■ **メモリーがいっぱいになったときは**

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「メモリーオーバー」と表示されます）。メモリー受信した内容をプリントしたり、不要な録音メッセージを消去してください。

お知らせ

● プリント中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。
● 受信プリント（☞7-6ページ）の設定を「手動」にしていると、ファクスを受信するたびに、受信内容はメモリーに保存されます。このときも上記の操作でプリントしてください。
●「メモリー受信」の設定（☞4-7ページ）を「しない」にすると、
・受信したファクス内容によっては、記録紙の途中で分断されてプリントすることがあります。
・通信速度がメモリー受信のときよりも遅くなることがあります。